

♣ 扉 支援を	仁茂田芳枝 1
♥ まなぶということ	飯島貞親 2
♠ 今月の統計資料	4
♦ 詩 青い空とひまわり	太田章子 8



特集 平和の配当

21世紀の国際政治	「極覇権から米中対立へ」	高橋和夫	10
EUで台頭する右翼・極右政党	東	一	19
ロシア・ウクライナ戦争にみる平和という希望	湯浅	剛	22
国内紛争、国際紛争を起こす国、利用する国	西	哲雄	25
日本のうしろ	世界のうしろ		
精神障害の労災認定基準が12年ぶりに改訂	新井栄三		29
水俣病の救済をめぐる大阪地裁判決	高峰	武	

国家と教育 8 戦前の道德教育

小野方資 36

職場の法律相談

外資に企業譲渡
雇用と労働条件を守るには 海渡雄一 40

憲法 23 SDGs

北川鑑一 57

誌上学習会『イギリスにおける労働者階級の状態』12 諸結果②

61

◆ この本を読んで	43	◆ たちみ席	54
◆ キャラバンサライ	44	◆ 働く現場から	56
◆ スポーツ時評	46	◆ 北から南から	65
◆ メルボルン便り	48	◆ センターと	68
◆ 経済を知ろう！	50	◆ みなさんをつなぐ	
◆ 中國観看	52		

カット＝野崎安希子

まなぶということ

関東大震災での朝鮮人虐殺を
なかったことにしたい政治権力者

飯島 貞親

今年の9月1日は関東大震災発生から100年、地震による大災害とともに朝鮮人虐殺などを引き起こし負の遺産を残した。NHKの特集番組では、虐殺は戒厳令下における「集団の狂気」によるものと報じられた。

この「集団の狂気」がなぜ朝鮮人に向けられたのか。当時、大日本帝国が満州、朝鮮半島などへの侵略をすすめる中で、国策である侵略を邪魔するものは殺してもかまわないという「侵略の狂気」が推察できる。これが侵略された側からの逆襲を恐れ、やられる前にやらなければという心理を生んだのだろう。

日本政府は真相究明から逃げ続けており、松野官房長官は朝鮮人虐殺について「政府として調査した限り、政府内において事実関係を把握することのできる記録が見当たらない」と発言した。内閣府が事務局を務める中央防災会議に設置され

た「災害教訓の継承に関する専門調査会」の関東大震災に関する報告書の中に、朝鮮人虐殺に関する記載されているにもかかわらずである。

小池百合子東京都知事も同様の発言をしており、その場で虐殺を目撃した人がいたとしても「記憶違いではないか」「それとは違う証言が他にある」とでもいうつもりなのだろうか。

歴史を平然と修正する発言を許していたら南京大虐殺も従軍慰安婦も同じようにうやむやにされてしまい、同じ過ちを繰り返すことになるだろう。

ところで、大震災の2日目、「朝鮮人が井戸に毒を入れた」「朝鮮人を出せ」という自警団の脅迫があった際、追われてきた朝鮮人をかくまひ救った人がいる。神奈川県警鶴見分署長だった大川常吉さんは「毒を入れたという井戸水を持ってこい。私が飲む。異常があれば朝鮮人を渡す。異常がないなら彼らを私に任せろ」と一喝した。すると自警団はすぐ退却したという。民衆や官憲が虐殺行為に関わる一方こんな署長もいたことに驚く。

(林野関連退職者の会)